

令和1年8月26日

芦屋市企画部市民参画課  
課長 浅野 令子 様

(あしや市民活動センター指定管理者)  
特定非営利活動法人あしや NPO センター  
事務局長 橋野 浩美

### 災害時のIT対応セミナー報告書

- 1 開催日時：令和1年8月25日（土）11：00～15：00
- 2 担 当：橋野
- 3 参加者数：24名（内 ボランティア7人 子ども新聞記者3人）
- 4 講 師：松村 亮平氏（NPO法人コミュニティリンク）  
和田 菜水子（ためま株式会社）
- 5 協力団体：阪神南地区ビジョン委員会、（一社）日本四季大学、甲南高校  
クラーク記念国際高等学校、神戸新聞社
- 5 内 容
  - (1) 目 的：2019年度災害時対応セミナー第1回 日常からITを利用した情報発信と収集ができるようになること、学生のサポート、子ども新聞からの情報発信、炊き出し風昼食をはさんでの多世代交流を目的とする。
  - (2) 内 容：SNSに代表されるTwitter、LINEを日常から利用するためのノウハウを学ぶ。  
昼食時に学生アシスタントの支援でSNSになじむ。  
ためまっふ芦屋の紹介と実践
- 6 アンケート結果：回答数：20  
【満足度】  
とても役立った…8、少し役立った…1、物足りなかった…0  
役立たなかった…0
  - ・地域の自治防災会の中でSNS活用は重要なツールと感じた。グループでの情報共有化を今後図っていきたい。(70代男性)
  - ・大変役に立った。ありがとうございました。(60代男性)
  - ・実践できるよう自分のスマホでボランティアさんに手伝ってもらって操作できたので、とても分かりやすく挑戦できました。情報を得るところから始めたいと思います。カレーも美味しかったです。(60代女性)
  - ・参加して講座を受けたことで実際にもう少し活用してみたいという気持ちになりました。「ためまっふ」は初めて知りましてが、ためになる予感がします。(70代女性)
  - ・Twitterの内容について誤解していました。今回それを認識し、今後使える機会

を得ました。大変よかったです。(60代男性)

- ・スマホも使いこなせなく受講はどうかなと思っていましたが、楽しく勉強できました。高校生の方との交流が持て楽しかったです。ありがとう!! (50代女性)
- ・日頃いつも使っているスマホの機能を使っての活用。いざという時の災害時に役立つツール(こんな活用があるのか?と改めて知ることが多かった)を普段から知っておき、使い慣れておくと心強いと思った。(60代女性)
- ・LINEとTwitterが災害時に有効だということが良く分かりました。災害時に慌てないよう普段から使えるようにしていきたいと思います。和田さんのお話も聞きやすかったです。(特に声が良い) (50代女性)
- ・高校生のボランティアの皆さんありがとうございました。(50代女性)

#### 【参加理由】(複数回答)

- ・興味がある。勉強してみたい。 ..... 8
- ・防災のグループを持っている。自団体の参考のため..... 2
- ・引き続き防災時対応セミナーに参加予定 ..... 4
- ・リードあしやから案内があったから。 ..... 1
- ・その他(図書館のチラシ配架) ..... 1

#### 【リードあしやのサポートについて】(複数回答)

起業相談5、運営相談12、情報提供14、ネットワーク紹介8 その他1

#### 【開催してほしい講座・イベント等】

- ・防災関係
- ・パソコン講座
- ・定期的に、このような講座を年代別(小学生向け～高齢者)に開催希望
- ・災害時に限定せずITセミナー

## 7 振り返り

- ・キャンセルも含め、参加希望者は全て50歳代以上であった。これまでの経験からボランティアに高校生を募集し多世代交流を目的のひとつとした。ねらい通り和やかな場となった。
- ・プロジェクタートラブルでセミナー始まりが遅れたが、その間をスーパーバイザーの津久井氏に対応し、これまでの災害時の事例をお話いただき逆に良い学びの場となった。
- ・高校生のアシスタントボランティアの皆さんからも、日頃使っているツールでも発見があったり、高齢者の方との交流ができたり、よい経験ができたと声があった。
- ・セミナー開始前に子ども新聞記者が講師と津久井氏へのインタビューをし、セミナー終了時に参加者全員に新聞を配布した。セミナー主旨や講師の想いを改めて

理解し、皆さん喜んでお持ち帰りいただいた。

- 参加者のRUN伴兵庫 2019 実行委員会の方から、第4回災害時の住（11月2日）にコラボ希望を相談された。認知症の方をリレーでつなぐイベントであり、当日が芦屋にバトンされる日であるので、午前中セミナーを受け、その後リードあしやで引継ぎをするということであった。詳細は後日相談することになったが、一つのセミナーで様々な団体とつながっていく、正に地域連携事業となってきたことは喜ばしい。<https://runtomo.org/>
- クラーク記念国際高等学校防災部の学生と芦屋防災マップを Web 化する stroy の勉強会を持つこととなった。災害時対応セミナー最終日に活かしたい。

以上

